

平成28年 第3回 市議会定例会

市長所信表明

蕪崎市

本日ここに、「平成28年第3回市議会定例会」の開会にあたり、提出いたしました案件のうち、主なるものにつきまして、その概要を申し上げ、併せて、私の所信の一端を申し述べ、議員各位、並びに市民の皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

このたび本市職員が酒気帯び運転による不祥事を起こしました。市民の皆さま、関係者の方々の信頼を裏切ることとなり、多大なるご迷惑とご心配をおかけしたことを心からお詫び申し上げます。今後は、市民の皆さまからの信頼の回復に向け、職員一丸となり再発防止に努めてまいります。

さて、先月、南米では初めてとなるリオデジャネイロオリンピックが開催され、連日の熱戦では幾多の感動のドラマが生まれました。

中でも私が注目したのは、男子陸上400mリレーにおける銀メダルの獲得であります。例え、個人の記録は及ばなくても、チームとして力を合わせれば、オリンピックの場においても優勝を争うことができる。これは、私が目指している「チーム葦崎」によるまちづくりにも共通して言えることであると感じた次第であります。

このメダルを含め、我が国は史上最多となる41個のメダルを獲得いたしました。この躍進が四年後の東京オリンピックに向けて、さらに私たちの期待を高めるところでもあります。

7月には市営総合運動場グラウンドにおいて、本市で初となる「夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会」を開催し、予想を大幅に上回る2千2百名余りの方々にご参加をいただきました。市民の皆さまの健康増進に対する意識の高さに感激するとともに、今後もラジオ体操をはじめとする幅広い軽スポーツに多くの方が取り組まれるよう期待するものであります。

また、8月11日の『山の日』には、世界的なトレイルランナーとして活躍されている山本健一様の監修によるトレイルランニングコース「サンライズヒル穂坂」を穂坂自然公園内に新たに整備いたしました。

同日のプレオープンイベントには、県内外から約130名が参加され、1周約5キロのコースで走り初めを行いました。今後も健康づくりをキーワードにした事業を展開してまいりますので、多くの方々のご参加をお願いいたします。

また、16日に開催した恒例の夏の武田の里まつりは、大村智名誉市民をお迎えしノーベル賞受賞記念として、日ごろ先生が大切にされている『一期一会』の精神のもと、多くの皆さまとの出会いと感動の共有をテーマに、昨年を上回る四万人余りの皆さまにご来場をいただき、例年にも増して盛大に開催したところであります。

このたびの祭典に際し、多大なご協力を賜りました協賛企業各社をはじめ

め、商工会や各種団体等、関係各位に対し、あらためまして心から御礼申し上げます。

次に、今月4日に市内全域で行なわれた総合防災訓練についてであります。「家庭の減災チャレンジ」として、自らの飲み水を確保した避難訓練に加え、新たに地震発生に伴う停電復旧時の火災事故防止のための取組みを行いました。

また、災害時要配慮者について、地区の介助者が福祉避難所へ搬送を行う率先避難訓練についても、老人福祉センターなど3か所で実施し、災害への備えとしたところであります。

さらに、今月24日には、大規模災害時における外部ボランティアと被災現場がスムーズに行動出来るようにボランティアセンターの開設と運営に関する訓練を実施します。

さて、我が国の経済状況について、内閣府は先月の「月例経済報告」において、景気は緩やかな回復基調が続いていると判断を据え置いたところであり、個人消費はおおむね横ばいではありますが、先行きについては、雇用や所得環境の改善が続くと明るい見通しを示しております。

また、県内景気について、日銀甲府支店の金融経済概観において、「一部に弱めの動きがみられるものの、全体としては緩やかに回復しつつある」と同様に判断を据え置いております。

こうした中、本市といたしましては、先月に閣議決定された経済対策の動向に注視しながら、子育て・介護の環境整備や農業の競争力強化、中小企業・小規模事業者支援などの事業に取り組み、活力と魅力あふれるまちづくりを進めてまいる所存であります。

次に、本年度の主な事業の動向について申し上げます。

まず、市民交流センター管理運営事業についてであります。開館5年目を迎え、7月に入館者数が延べ200万人を超えた市民交流センター「ニコリ」は、順調に地下のリニューアルが進み、10月9日にはオープニング記念式典をはじめ、峡北美術協会による「葦地下アートギャラリーオープニング企画展」や、音楽愛好者による音楽スタジオでのライブを開催するなど、芸術と音楽の機能強化を果たした「葦地下」の魅力あふれるイベントを予定しておりますので、多くの市民の皆さまにご来場いただきたいと思っております。

次に、まち・ひと・しごと創生総合戦略関連事業であります。昨年度策定の総合戦略において市民により立案され、国の地方創生加速化交付金の採択を受けた中学高校生育成支援のための「にらさき愛育成・カムバック支援事業」の拠点としてニコリの地下に青少年育成プラザ「Miacis(ミア

キス)」を開設し、市の魅力を伝え、若者の定住を図るための先進的な取り組みとして、今後の運営に努めてまいります。

なお、本年度ニコリ1階に開設の移住定住相談カウンターへ専門の移住コーディネーターを7月より配置したところであり、自らの移住経験者としての具体的な対応により相談者が増加しております。

次に農業振興についてであります。JA梨北による梨北米の販路拡大と販売価格の維持を目的としたセブンイレブンの業務提携に伴うントリーエレベーターへの米の色彩選別機導入や桃、ブドウなどの果実についても収益力向上のため新府、大草両共選所に透過式光センサーを導入し、さらに穂坂果実部会へ各種農業機器を導入するなど、主要農産物についての営農戦略強化に支援を行うことといたしました。

次に、企業誘致の促進についてであります。先の6月定例市議会において、上ノ山・穂坂地区工業団地の隣接地に、新たな区画の拡張をお示したところではありますが、7月より、候補地の地権者や地元地区長を対象とした説明会を開催いたしました。ご出席をいただいた地権者からはご理解を得られたと聞き及んでおりますが、今後も丁寧な説明に意を注ぎ、関係機関等との協議を進め、早期の完成を目指してまいります。

次に、まちなか美術館構想と連動したまちなかの活性化についてであります。私の公約でもあります「まちなか美術館構想」の一環として、平成30年4月の公開を目指し、著名作家らによる「世界の平和と人類の幸福」をテーマとした芸術作品を幸福の小径沿いの各所に展示することにいたしました。

また、まちなか商店街への大村美術館の絵画展示につきましては、商工会との連携を図るなかで、条件の整った店舗を選定し、展示を進めてまいります。

次に、今議会で認定をいただく、平成27年度決算についてであります。まず、一般会計決算ではありますが、歳入総額は、130億6,693万1千円となり、前年度に比べ4.3%の減、また、歳出総額は、126億7,805万9千円となり、前年度に比べ、4.1%の減となっております。

歳計剰余金は、3億8,887万2千円で、翌年度への繰越財源を差し引いた実質収支は、3億1,702万9千円の黒字となりました。また、財政構造の弾力性を示す「経常収支比率」につきましては、88.3%と、地方消費税交付金等による経常一般財源の増及び人件費等の経常経費充当一般財源の減により、前年度より0.5%の改善となっております。

次に、「健全化判断比率」につきましては、「実質公債費比率」が0.6%減の10.2%、「将来負担比率」が15.4%減の71.8%となり、

いずれの指標も昨年度より改善し、早期健全化基準を大きく下回る結果となっております。

また、特別会計につきましては、実質収支の総額が2億9,511万1千円となり、水道事業会計におきましても、純利益を出すことができ、堅実な財政運営を行うことができたところであります。

なお、病院事業会計につきましては、純損失が2億6,652万4千円となったところでありますが、医業収益の減と電子カルテ導入等による医業費用の増等によるものと考えております。

議員各位のご協力と市民の皆さまのご理解に支えられ、平成27年度も健全財政を維持できたところでありますが、実質単年度収支が引き続き赤字であることから尚一層、効率的な予算執行に取り組むとともに、使用料等の見直しにより自主財源を確保し、将来を見据えた計画的な財政運営に努めてまいり所存であります。

次に、本日提出いたしました審議案件についてであります。先の6月議会から今日までの行政執行の中で、予算につきまして補正の必要が生じたので、対処いたしましたところであります。

これにより、今議会でご審議をお願いする案件は、

報告案件	5	件、
予算案件	5	件、
条例案件	3	件、
認定案件	16	件、
その他案件	1	件であります。

このうち、一般会計補正予算案について、その概要を申し上げます。

今回の補正は、前年度繰越金や地方交付税等の確定に基づく歳入予算を計上したほか、定期人事異動に伴う職員給与費の補正、並びに緊急性を生じた諸事業を中心に編成したところであります。

まず、議会費についてであります。

人事異動に伴い、職員給与費を44万6千円減額補正しております。

次に、総務費であります。

平成27年度決算における実質収支の2分の1相当額を積み立てるため、財政調整基金積立金に1億5,851万5千円、10月に市民交流センター「ニコリ」の地下にオープンするアートギャラリーのイベント経費など市民交流センター管理運営費に930万5千円、銅像建立などにかかる経費として大村智博士ノーベル賞受賞祝賀記念事業費に322万3千円を追加計上するほか、職員給与費の減額等をあわせ、総額1億5,449万8千円を増額補正しております。

次に、民生費であります。

介護従事者の労働負担の軽減を目的とした介護ロボット導入費用の助成経費として地域介護・福祉空間整備推進事業費に158万6千円、埋蔵文化財の追加発掘調査や既存施設の移設工事の経費として再編保育園・藤井公民館整備事業費に871万円を追加計上し、職員給与費の減額とあわせ、総額54万4千円を減額補正しております。

次に、衛生費であります。

職員給与費を減額する一方、10月から1歳未満の乳児を対象に定期接種化となるB型肝炎ワクチンの接種経費として予防接種事業費に233万7千円を追加計上し、あわせて総額282万2千円を増額補正しております。

次に、労働費であります。

若者定住就職奨励金の支給申請者数の増加を見込み、若者定住就職奨励金支給事業費に20万円を追加計上しております。

次に、農林水産業費であります。

農家の後継者が、経営規模拡大のために必要な農業用機械を導入するための助成経費として、104万2千円、先に説明いたしました梨北農業協同組合などへの助成を含め、農業団体育成事業費に6,260万7千円を追加計上し、職員給与費の増額などとあわせ、総額7,935万4千円を増額補正しております。

次に、商工費であります。

わに塚の桜の観光客用駐車場の用地取得費として観光施設管理事業費に200万円を追加計上し、職員給与費も増額する一方、赤ワインの丘プロジェクト推進事業費として計上しておりました市道(穂坂)12号線排水路整備工事に係る経費を土木費に振り替え、6,955万8千円を減額し、総額6,030万8千円を減額補正しております。

次に、土木費であります。

市道(穂坂)68号線の法面補強を実施するため、県が行う砂防工事の一部負担金として、市単独道路整備事業費に960万円を追加計上し、商工費で説明いたしましたとおり、振り替えとして、河川・水路整備事業費に同額を追加計上し、職員給与費の増額とあわせ、総額1億1,518万8千円を増額補正しております。

次に、教育費であります。

幸福の小径に立体作品を設置する作家の選考経費など美術館管理運営費に193万3千円を追加計上し、職員給与費の増額などとあわせ、総額28万2千円を増額補正しております。

以上の結果、一般会計補正予算額は、2億9,807万2千円の増額補正となり、現計予算額は141億4,575万1千円となります。

次に、特別会計であります。

まず、国民健康保険特別会計におきましては、高額医療費共同事業医療費拠出金、保険財政共同安定化事業拠出金の概算額の確定により、あわせて9,015万1千円を増額し、また、国民健康保険の直営診療施設である市立病院の医療機器等導入の助成経費として直営診療施設会計繰出金に5,268万6千円を追加計上するなど、総額2億3,250万7千円を増額補正しております。

次に、下水道事業特別会計におきましては、職員給与費の増額と消費税納付額の確定に伴い下水道事務費に88万7千円を増額するなど、総額517万3千円を増額補正しております。

次に、介護保険特別会計におきましては、職員給与費を増額する一方、平成27年度決算に基づき、繰越金から基金積立に4,018万9千円、国庫支出金等償還金に5,770万1千円を追加計上するなど、総額9,801万3千円を増額補正しております。

また、病院事業会計におきましては、オーダリングシステム・電子カルテ導入の追加経費として委託料に1,793万6千円、地域包括ケア病棟の新設に向け、診療録管理者の配置経費として賃金などに457万7千円を追加計上し、職員給与費の増額とあわせ、総額3,368万7千円を増額補正しております。

その他の案件につきましては、いずれもその末尾に提案理由を付記してありますので、よろしくご審議のうえ、ご議決あらんことをお願い申し上げます。

平成28年9月8日

葦崎市長 内藤久夫